

保護者の皆様

令和6年10月11日

川崎市立中野島中学校
校長 内田 和之

令和6年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月12日（金）に行いました1～3年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月17日（水）、18日（木）に行いました3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

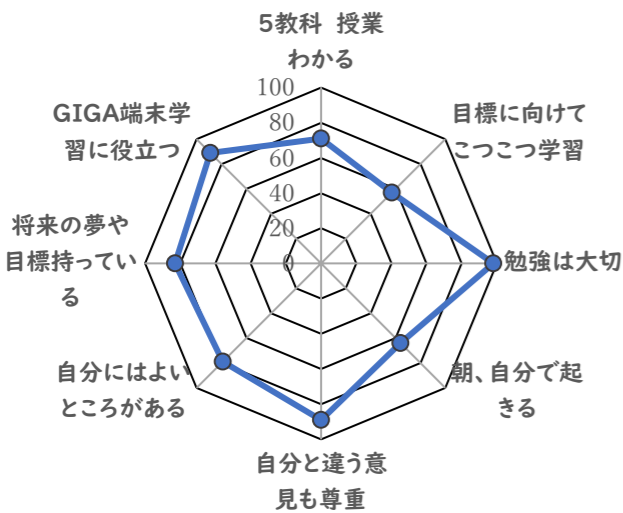
学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）

- 心の健康な中学生
- 体の健康な中学生
- 教養豊かな中学生

<目指す生徒像>

- ・ 自主自立の心を持ち、心豊かで思いやりのある生徒
- ・ 健康と安全の習慣を身につけ、体力の推進をめざす生徒
- ・ 基礎学力を身につけ、真理を愛し、向上心に富む生徒

令和6年度 川崎市学習状況調査 1年生



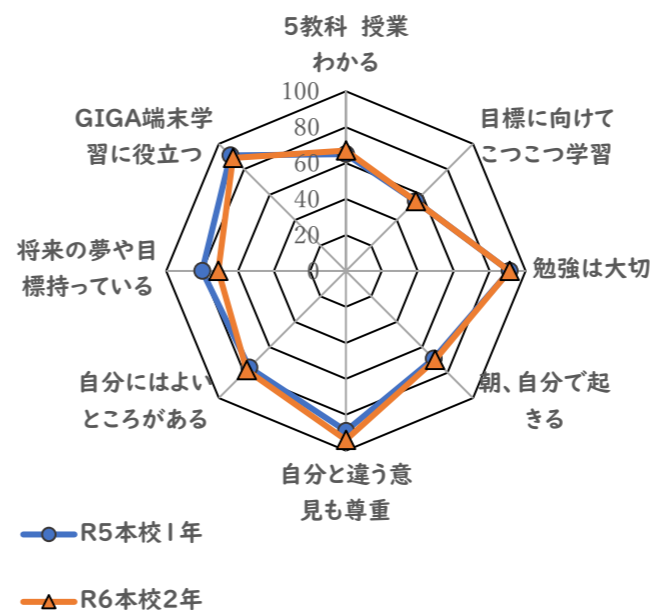
● R6本校1年

・「5教科 わかる」は71ポイントでした。「わかる授業」の実践のため、すべての教科で学習のねらいを明確にして、個に応じた支援と指導を行います。GIGA 端末を活用した個別最適な学びに向けた授業の工夫を実践します。

・「将来の夢や目標を持っている」は83ポイントであった一方で、「目標に向けてこつこつと学習している」の回答が57ポイントでした。キャリア在り方生き方教育の視点での学習指導を推進し、生徒が自分を見つめ、良さを感じ、生き方を考えたり、学ぶ意義についてより深く考えたりする活動を重視します。また、学習指導要領が示す主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善を行い、生徒の学びに向かう力の育成を図ります。

・「自分には良いところがある」は79ポイントでした。「目指す生徒像」にある「心豊かで思いやりのある生徒」を踏まえ、生徒が他者と関わり合いながら授業や行事等に取り組むことを大切にし、生徒同士がお互いの頑張りや良さを認め、伝え合う活動を重視していきます。

令和6年度 川崎市学習状況調査 2年生

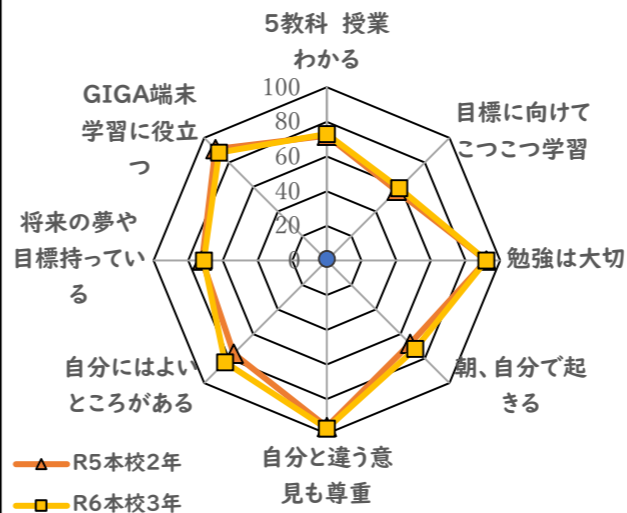


・「5教科 わかる」は67ポイント、「目標に向けてこつこつと学習している」の回答が55ポイントでした。学習のねらいを明確にして、生徒が学習の見通しを立てたり、単元の終わりに学習を振り返ったりすることができるよう授業改善を行い、「わかる実感」の向上を図るとともに、生徒が学びの振り返りをもとに次の学びにつなげようとする『主体的に学習に取り組む態度』の育成を図ります。

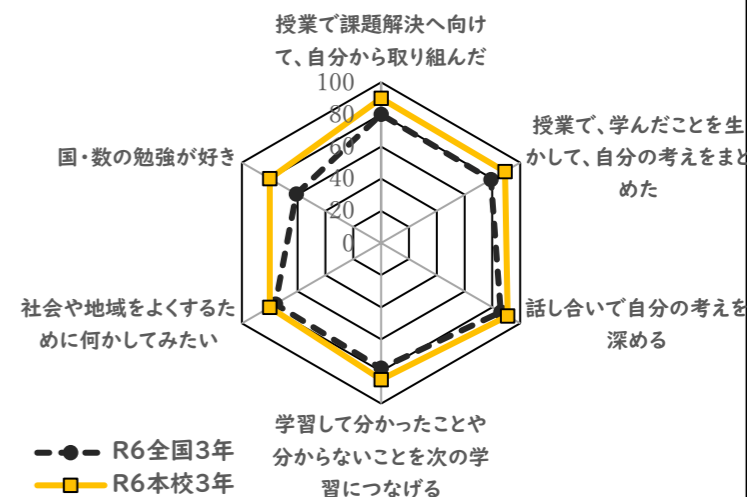
・「将来の夢や目標を持っている」は71ポイントで、昨年同時期の回答より9ポイント下回っています。生徒が自分の適性について考えたり、進路や生き方について、よりイメージや考えを膨らましたりできるよう、職場体験や、キャリア在り方生き方教育の視点での学習を推進します。

・「自分と違う意見も尊重している」は94ポイントでした。生徒がお互いの頑張りや良さを認め、伝え合う活動を重視した成果と捉えています。

令和6年度 川崎市学習状況調査 3年生



全国学力・学習状況調査 3年生



・全国調査「話し合いで自分の考えを深める」や、「授業で課題解決へ向けて、自分から取り組んだ」、「授業で学んだことを生かして、自分の考えをまとめた」が平均を上回りました。生徒が自ら問題を見出すような授業を展開したり、対話的な学びや、学習したことを活用した言語活動を行ったりすることを3年間継続してきた成果が表れたと考えています。一方で、市調査「5教科 わかる」が73ポイント、「目標に向けてこつこつ学習している」が59ポイントであり、どちらも十分な結果ではないと捉えています。生徒が「わかる実感」をもって学習意欲を高めたり、学習の意義についてより理解を深めたりできるよう、他学年と同様に、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を推進します。

・「朝、自分で起きる」は72ポイントで昨年度調査より4ポイント上昇しており、生活習慣の向上を図る生徒が増えました。生徒が自らの健康に関心をもち、より良い生活習慣が定着するよう、学習活動や保健だより・食育だより等を通じて健康・安全教育の推進をさらに行います。

・全国調査「社会や地域をよくするために何かしてみたい」は今年度、全国平均を上回りました。職場体験や、地域の行事の参加などで、地域の方にも多くの場面で生徒の学びに関わって頂いた成果の一つと考えます。今後も地域・社会への関心を高め、学校と地域が連携した取組を図りたいと考えます。